

やはば

議会だより

189
2014.7.16



未来の消防団
(幼年消防クラブ)

議会で決めたこと

いよいよ通年議会としてスタート..... 2

一般質問 町政を問う

新たな図書センターの運営は 一般質問7議員..... 5

あの質問はどうなった

煙山保育園の整備は..... 13

議会からのお知らせ

議会と町民との懇談会..... 14

平成26年6月会議から

いよいよ通年議会としてスタート

議会で決めたこと

この6月より通年議会の運用が始まり、平成26年の定例会は6月10日に開会し、12月26日までの200日間を会期とすることに決定しました。これにより会期中いつでも会議が開けるようになります。

なお6月会議は、6月10～13日の期間で開催され、財産取得や補正予算等を審議しました。

補正予算

▼生活道路整備事業

261万円

▼屋外放送施設改修事業補助金

200万円

補正予算は、一般会計、介護保険事業特別会計で計上され、一般会計は約5421万円を追加し、総額約92億9550万円となりました。

主な内容は次の通りです。

【主な質疑】

主な歳入

▼地域経営推進費補助金

710万円

▼被災者住宅再建支援事業補助金

316万円

主な歳出

▼コミュニティ施設等整備事業

1300万円

質問 コミュニティ対策費の内容は。

答弁 下北自治公民館のエアコン等の設置である。

質問 生活道路整備の路線延長は。

答弁 町道北向2号線（館前行政区）の簡易舗装で、幅員3.2m、延長260mである。

財産取得

購入から22年を経過した第1分団第2部の消防ポンプ自動車を更新します。

1906万円

【主な質疑】

質問 20年以上経過している消防車は何台あるのか。また今後の更新計画は。

答弁 今回を含め7台ある。耐用年数も過ぎているため、次期総合計画でも検討し、できるだけ毎年度更新していきたいと考えている。

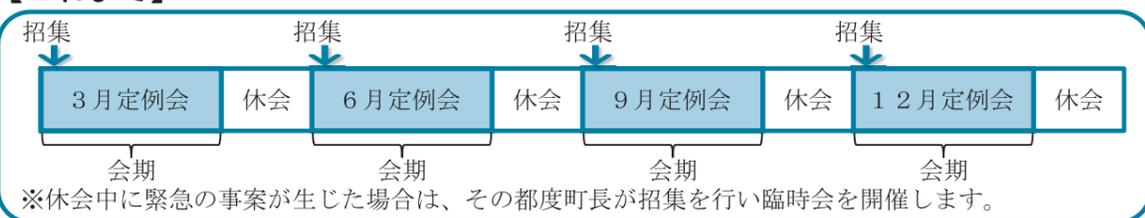


昨年度更新された消防ポンプ自動車（第2分団第7部）

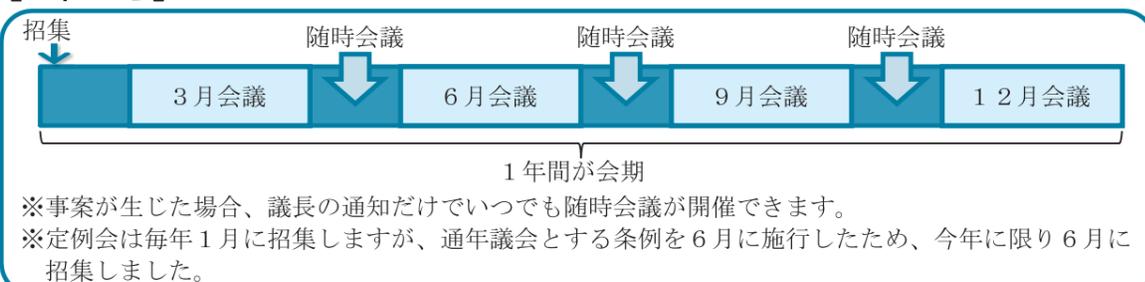
通年議会とは？

6月会議から通年議会がスタートしました。通年議会とは、議会が主導的・機能的に活動できるように、定例会の開催回数を年1回とし、その会期を通年とするものです。これに伴い、会議の名称等も変わります。

【これまで】



【これから】



JAが設置している屋外スピーカー（矢次公民館）

質問 JAが自治公民館等に設置している屋外放送施設の改修は、10基で全てか。

答弁 31基のうち12基に不具合が生じているが、調査の結果スピーカー部分ではなく避雷アダプターの故障のようなので、金額的にあまりからなれないと思われることから、12基分の修理が可能になるのではないかと考える。

なお、JAでも有線放送施設全体として予算を確保しているとのことである。



第2回・第3回臨時会

第2回臨時会は4月30日、第3回臨時会は5月16日に行われ、工事請負契約の締結や補正予算等を審議しました。

工事請負契約

煙山保育園

▼矢巾町国民保養センター災害復旧工事（第2回臨時会）
1億1556万円

【質問】工期と完成予定は。
【答弁】2月までを工期とし、園舎は12月末の完成予定である。

▼矢巾町立煙山保育園改築工事（第3回臨時会）
3億240万円

【質問】園庭面積はどうか。
【答弁】従来の2500平方メートルに対し、今回の工事で4000平方メートルに広がる予定である。

【主な質疑】

国民保養センター

【質問】防犯カメラの台数と設置場所は。
【答弁】玄関に3台、廊下に4台の設置を予定しており、レコーダー2台、モニター2台も設置する予定である。

【質問】工期はどの程度か。
【答弁】11月までを工期とし、12月1日にオープンしたいと考えている。

各議案の採決状況

平成26年第2回臨時会（4月）

議案番号	提出議案名	議員名	齊藤正範	藤原由巳	村松信一	山崎道夫	川村農夫	小川文子	谷上哲	廣田光男	秋篠忠夫	芦生健勝	昆秀一	村松輝夫	藤原梅昭	川村よし子	米倉清志	高橋七郎	長谷川和男	藤原義一	採決結果	
議案29号	矢巾町税条例等の一部改正の専決処分に関する承認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	承認
議案30号	平成25年度矢巾町一般会計補正予算（第8号）の専決処分に関する承認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案31号	平成25年度矢巾町下水道事業会計補正予算（第6号）の専決処分に関する承認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案32号	矢巾町国民保養センター災害復旧工事請負契約の締結		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案33号	平成26年度矢巾町一般会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

平成26年第3回臨時会（5月）

議案番号	提出議案名	議員名	齊藤正範	藤原由巳	村松信一	山崎道夫	川村農夫	小川文子	谷上哲	廣田光男	秋篠忠夫	芦生健勝	昆秀一	村松輝夫	藤原梅昭	川村よし子	米倉清志	高橋七郎	長谷川和男	藤原義一	採決結果	
議案34号	矢巾町立煙山保育園改築工事請負契約の締結		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

平成26年定例会6月会議

議案番号	提出議案名	議員名	齊藤正範	藤原由巳	村松信一	山崎道夫	川村農夫	小川文子	谷上哲	廣田光男	秋篠忠夫	芦生健勝	昆秀一	村松輝夫	藤原梅昭	川村よし子	米倉清志	高橋七郎	長谷川和男	藤原義一	採決結果	
議案35号	財産の取得に関し議決を求めること		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案36号	平成26年度矢巾町一般会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案37号	平成26年度矢巾町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○=原案に賛成 ●=原案に反対 欠=欠席

注：藤原義一議長は採決に加わらない。

一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い政治姿勢を明らかにするものです。6月会議では7人の議員による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

●高橋 七郎 議員…… P6

- ①新たに予定している図書センター
- ②地方中枢都市モデル事業
- ③旧矢巾中学校グラウンド利用促進

●芦生 健勝 議員…… P8

- ①矢巾町の将来展望は
- ②遊歩道の整備を

●小川 文子 議員… P10

- ①駅前に建設予定の複合施設
- ②駅前町有地に建設予定の商業施設・屋台村
- ③8・9 水害からの防災対策

●昆 秀一 議員… P12

- ①教育委員会制度の見直しは
- ②住民参加型の行政に
- ③介護制度改革でどうなるのか

●谷上 哲 議員…… P7

- ①土曜日の子どもの過ごし方
- ②認知症の予防と対策
- ③AEDの有効活用を

●川村 よし子 議員…… P9

- ①高齢者が安心して受けられる医療・介護
- ②憲法と子どもの権利条約が生きる学校地域づくり
- ③政府の農業政策と本町との関連

●山崎 道夫 議員… P11

- ①コメ政策転換への対応は
- ②矢巾町第7次総合計画策定のスケジュール等

※次ページからの各議員の質問と答弁は、紙面の都合上、抜粋し内容を要約して掲載しています。



やがみ さとし 議員
谷上 哲

土曜日学習の試行を 全国的な推移を参考にする



練習に励むスポーツ少年団（矢中東小グラウンド）

質問 土曜日授業の実施について考えているのか。
教育委員長 一部の小学生は土曜日学習であるスポーツ少年団活動をしており、また、中学生の多くは課外授業と呼ぶべき部活動に時間を費やしていると思われるので、現時点

認知症の 予防と対策は 支える体制を整える

質問 集団検診に認知症検査

質問 五者（子ども・親・学校・地域・行政）連携で地域密着の土曜日学習を試行してはどうか。
教育委員長 スポーツの面では一定の対応をしているが、学習機会はほとんど見られていない状況である。五者連携については、多くのボランティアの協力が必要であり、今後、実施市町村の動向や全国的な推移を注視し、参考にしたい。

質問 本町の認知症についての発症状況は。
町長 町内の要介護認定者数が平成26年4月時点で1039人である。その中の611人が認知症の判定を受けており、昨年度より43人増えている。さらに、認知症の疑いのある方は193人おり、昨年度より12人増えている。

質問 施設への入所者状況は。
町長 町内には認知症対応型共同生活介護施設としてグループホームが2施設あり、現在は両施設とも満員状態で42人の方が入所されている。



たかはし しちろう 議員
高橋 七郎

新たな図書センターの運営は 民間に委託し司書配置は検討



民間委託と指定管理で運営している佐賀県武雄市図書館

質問 矢幅駅前予定している複合施設内の図書センター運営を誰が担当するのか。また司書の配置はあるのか。
町長 維持管理および運営は、駅前開発（株）の構成員である第一商事（株）が行い、司書の配置については検討する。

質問 民間企業の運営ノウハウを、研修すべきと思うが。
町長 図書センターの運営に對して参考になる事例が多くあり、情報を収集し運営にかかしていく。

する行政課題・雇用の創出・住民福祉課題の調査などを行うため。
質問 このモデル事業をいつの時点で議会および町民に説明するのか。
町長 「連携協約」の締結に向けた成長ビジョン策定のための調査・会議等の準備を進め、戦略方針等が策定された時期を予定している。

広域連携モデル 事業への参加は 広域圏における 諸課題対応のため

質問 盛岡市は国が進める新たな自治体広域連携「地方中枢拠点都市」のモデル事業に応募することを示したが、本町はどのような思いで参加したのか。
町長 本格的に迎える人口減少社会・盛岡広域圏内で共通

旧矢中中の グラウンド管理は 指定管理で対応

質問 旧矢中中のグラウンド管理を、水飲み場・トイレ施設整備に合わせて条例を制定し、体育協会に指定管理を委託しては。
町長 グラウンドと屋外運動場照明設備を一体とした条例を制定し、指定管理を委託したい。

での土曜日授業の導入は考えていない。
土曜日の教育活動は制度面での変更も伴うので、今後はその推移を注視し適切に対応していく。

を導入しては。
町長 会場では時間等も限られているため、約4000人の高齢者に調査票を郵送し、3000人ほどから回答を得ており、支援が必要な方へは、予防事業の各教室を案内している。

また、「矢中町認知症施策総合推進事業」に取り組み、支える体制を整えている。



かわむら 川村 よし子 議員

高齢者対策にどう取り組むか 地域ケア会議で最善策を検討



認知症理解の普及活動（おたすけ劇団）

質問 法改正により要支援1・2を制度から外すことや、要介護2以下は特養施設入所ができなくなる。今後の地域包括ケアで、高齢者対策はどう取り組むのか。
町長 高齢者が住み慣れた地域で生活できるように地域ケ



あしおい けんしょう 栗生 健勝 議員

矢巾町も2万人に減少 人口減少対策に予算を配分

質問 有識者でつくる日本創成会議の発表によれば、「2040年には岩手県の27市町村を含む全国896市区町村で20代から30代の女性人口が半分以下に減り、将来的には自治体が消滅する可能性がある」との試算が公表された。本町も例外ではなく、人口は2万337人まで減少すると試算されている。藤沢地区、中村地区の宅地開発と医大附属病院の移転開業により、当面人口増が望めるが、その後は減少が予想される。そこで今年から策定が始まる第7次総合計画に、大胆で新たな施策を盛り込むべきと考えるがどうか。
町長 若者が安定した収入のもとに定住化できるよう、雇用創出に努めるほか、なお一

名前を付けて 遊歩道整備を

身体活動と 運動は重要

質問 健康で長生きをするために、歩くことが重要である。西部と東部そして中心部に遊歩道を整備し、それぞれに名前を付けて、利活用を促進してはどうか。
町長 昨年実施した健康意識調査では、1日の平均歩行数が20歳から64歳の男性は約5

層の企業誘致活動と妊産婦・乳幼児の医療費助成、保育料の軽減措置など子育て支援に取り組んでいきたいと考えている。
また岩手医大総合移転等により、交流人口の増加が予想されることから、第7次総合計画の策定には人口減少対策に重点的に予算を配分し、交流人口の定住化の促進と出生率の向上に努めていきたい。

500歩、女性は約4500歩であり、全国と比較すると男女とも少ない状況である。生活習慣病の予防や高齢者の認知機能、運動機能の低下防止からも歩くことは重要であり、歩行数増加の指導に取

り組んでいる。
遊歩道として西部は煙山ダム周辺、東部は北上川堤防周辺、そして中心部は不來方高校から岩手医科大学キャンパス周辺を検討していく。



多くの参加者でにぎわった南昌山麓健康ウォーキング（城内山）

ア会議で諸問題に対応し、最善策を検討して支援していく。

質問 医療機関では早期退院が迫られるが、地域対応をどうするの。
町長 紫波郡在宅医療・介護連携関係者会議を開催し、検討している。

質問 医療介護総合法案は、社会保障と税の一体改革の具

体化であり、社会保障を本人と家族の責任に追いやるもの

と考えるがどうか。
町長 医療法等の改正に併せ新たな財政支援制度を創設することから、今後の動向を注視していきたい。

憲法を生かす 教育を

幼少期からが重要

質問 政府は秘密保護法を強行採決し、戦争する国を支え

る人づくりのための教育改革を行うとしているが、これに対する考えを問う。
町長 戦争を経験した国民が少なくなる中、恒久平和と戦争のない平和な世界を実現するためにも、今後とも幼少期からの教育が重要であると考

質問 教育委員会は、教科書

選定をどのように進めているのか。
教育委員長 盛岡南地区教科用図書採択協議会に所属している

ので、多方面からの意見集約を図りながら各学校の校長や保護者の意見も反映させていく。
今後、6月13日から7月8日まで、盛岡市立都南図書館内に設置されている盛岡教科書センターにおいて教科書を展示するとともに、意見箱を設置して意見を伺うこととしている。



やまざき みちお 山崎 道夫 議員

農政改革でどうなる農業

中小農家の活躍を支援



麦刈作業に励む組合員（三矢中営農組合）

質問 農政大改革は減反政策廃止など、先行きに不安を抱えている農家が大変多い。人・農地プランの推進に当たり、農政大改革はどのような影響があるのか。

町長 地域の話し合いにより、5年後を見据えて計画された住民アンケートなどで対応

7次総合計画に町民意見を

質問 第7次総合計画と前期基本計画策定に、町民の意見を反映させる取り組みは、どのように行っているのか。

駅前複合施設に不備あり

再度駐車場を検討する



おがわ ふみこ 小川 文子 議員

質問 来年度建設予定の駅前複合施設は、建設費12億円、維持管理費1億円で20年間の契約となることから再度必要性を問う。
敷地内に来館者用の駐車場がなく、離れた場所に30台は少な過ぎる上に不便では。
町長 複合施設の周辺も含め再度検討している。
質問 図書室の移転ではなく、矢中跡地に図書館の建設を。
町長 駅前が通勤、通学の利用者により便利であり、十分な図書室機能を有すると考える。
質問 人口減が予想される中、規模が大き過ぎないか。
町長 適切な施設面積であり、維持管理費も妥当と考える。



にぎわっている屋台村（八戸みろく横丁）

質問 屋台村を町有地に建設することが議会に説明されず、町として支援する

質問 町の「顔」となる駅前屋台村を配置する理由は、町の玄関口を魅力あるエリアとするため支援する。

駅前屋台村か

新聞報道が先行した理由は、町長 商工会から町への説明が報道直前であった。

質問 駅前で営業している店のニーズは、
町長 7事業者の出店申し込みがあり、うち駅前の店子は1事業者である。
質問 商業施設・屋台村への土地貸付条件は、
町長 周辺の民間土地利用の状況を考慮して決定したい。

水害の対策は

ダムの土砂除去延期

質問 昨年8月9日の水害を踏まえ、災害対策状況を問う。
煙山ダムの土砂除去、JR東側の車堰、JAの外部放送施設、各自治会への土嚢配備状況は。
町長 煙山ダムは遮水層の問題があり工事中を余儀なくされ、来年3月まで延期。車堰は秋頃に施工予定。外部放送は今年度整備する。土嚢は全行政区に意向調査を行い、希望があれば配備する。

一般質問 町政を問う

一般質問 町政を問う

あの質問はどうなった

過去に質問したことが現在どうなっているのか調査しました。

不妊治療助成は (平成21年9月定例会)

問 不妊治療は経済的負担が大きく、県では一部助成しているが本町の実態はどうか。
答 本町の相談件数はないが県の助成件数は急増しており、支援対策を検討していきたい。

現在は

平成26年度より助成

○保険適用外の一般不妊治療費および高額な特定不妊治療費の一部助成を行う。
○一般不妊治療は県内初の町単独事業として実施する。

老朽化した煙山保育園の整備を (平成23年6月定例会)

問 煙山保育園は昭和50年建設で老朽化しており、早急な耐震補強整備が必要ではないか。
答 第6次総合計画後期基本計画で改修を予定している。

現在は

改築工事に着手し太陽光発電設備も設置する (園舎は12月完成予定)



煙山児童館の分離を (平成22年3月定例会)

問 利用する児童数が多い煙山児童館を分離する考えは。
答 今後の推移を見て対応。

現在は

利用児童数増加に伴い増築 (11月完成予定)



教育委員会制度見直しは 議論の推移を注視していく



こん しゅういち 議員 昆 秀一



住民の相談を受ける教育委員会（役場2階）

質問 教育は重要なテーマであるが、国会での教育委員会制度の見直しをどう考えるか。
町長 今後とも議論の推移を注視し、教育委員会制度がよりその機能を発揮できるようにする。

質問 法律では教育委員に保護者の代表を含めることになっているが、誰が代表か。
教育長 現在は保護者の教育委員はいないが、改選時には入れていく予定である。

質問 教育委員の人選を透明化できないのか。
町長 今が適正と考える。

質問 教育委員会の活動内容も透明化できないか。また、ホームページの議事録が会議の次第のみになっている。
教育長 議事録の作成方法もいろいろあるが、教育委員会の詳しい活動を知りたい方は直接聞きに来てほしい。

住民の声 どう生かす

質問 住民に予算の編成過程が知られていない。今後わか

りやすく説明し、その中で住民の意見をどう生かすのか。
町長 予算編成では、議員各位の提言、各種協議会・審議会などで提案された意見等を聞いて、地域懇談会などでの町民の声も予算に反映するよう努めている。

質問 総合計画の策定に町民の声はどのように取り入れられているのか。
町長 アンケート結果を踏まえて広く住民の意見を集約し、パブリックコメントも実施して、多くの意見を策定に反映していく。

質問 予算策定では幅広く町民の意見を聞いた町民査定を取り入れてはどうか。
町長 予算査定は町長の専権事項であり今まで通りしていく。

質問 各民間団体に出している補助金はゼロベースから見直してはどうか。
町長 補助金については毎年度見直ししており、適正と考えている。

ひしひしと伝わる議会への期待と叱咤

第2回矢巾町議会と 町民との懇談会

平成26年7月2日、町公民館において町議会と町民との懇談会を開催したが、昨年12月17日に1回目を開催しており今回が2回目の実施となった。約60人の町民参加があり、その中の10人の方から各種質疑・提言・要望が出された。

はじめに町の本年度事業と昨年の大雨災害の対応状況、議会改革の取り組みについて報告した。

その後、町政・議会運営に関する質疑応答を行ったが、主な質疑応答内容は次の通りである。

駅前区画整理事業

町民 矢幅駅前の複合施設の一番の問題は駐車場であるが、再検討すべきではないか。
議員 駐車場の問題は議会でも取り上げられているが、現在町側も検討しているところである。

議会運営

町民 前回の懇談会の要望等はこのように議会として検討し、行政に生かしているのか。
議員 前回の要望については、一般質問等において意見を取り入れられるようにしている。総合計画については、議会も策定に関わる方向で話し合われているところである。

町民 議会を傍聴する場合に手続きが煩わしい。
議員 また、靴の履き替えは必要なのではないか。

議員 傍聴の見直しも含め、議会がより開かれるように議



子育て支援

町民 前回のこの懇談会でも発言したが、義務教育終了までの子どもの医療費の無料化はどうなっているのか。若い子育て世帯に対しての援助がより必要だと思いがどうか。

議員 今年度も町側において引き続き検討していると聞いている。議会も子育て支援のために要望していきたい。

体育施設

町民 グラウンドや体育施設の整備を次期総合計画に盛り込んでほしい。

エネルギー問題

議員 本町には体育施設そのものが貧弱な現状である。第7次総合計画で実現できるようにしっかりと提言していきたい。

町民 私は2年間町内で小水力発電の調査をしている。ぜひ本町においても小水力発電を推進してほしいが検討してほしいか。
議員 他の小水力発電も視察してきた。本町での場合は難しいのが実情であるが、今後とも検討していきたい。

西部地区の活性化

町民 駅周辺は人口が増えているが、西部は限界集落のようになってきている。もっと西部にも若い人が住めるように考えてもらえないか。

議員 都市計画法があり、なかなか難しいが、特区ができないかなど今後県と交渉していく必要がある。そういうニーズがあるという声を届けながら今後も頑張っていきたい。

国政課題

町民 国からの予算を確保するために議会がコーディネーターとして動くべきではないか。例えば紫波町では里山をきれいにする予算を1億5000万円確保しており、本町の里山も対象になると思うがどうか。
議員 わからないこともあり、大変勉強になった。今後調査

町民 集団的自衛権の行使容認に反対する意見書を議会として提出していただきたい。
議員 現時点では提出の動きはない。請願が出た場合は、議会運営委員会として対応していく。

アンケートで出された主な感想

- ・ 議会に町民の声が届けば良いと思う。議員18人の意見がまとまると良いです。
- ・ 初めて参加し町政の事が少し分かった。今後も継続し町民の声を伝えるためにも有意義。
- ・ 質問と回答が合っていない。言い訳過ぎる。もう少し時間をとって欲しい。
- ・ 回答がスムーズに出ない。報告時間が長く質問の時間が短く住民の声を聞く資質なし。議会だよりを見て質問する会にして欲しい。
- ・ テーマを決め要望、意見交換会を開催して欲しい。
- ・ 時間帯は、働いている方には早い。町長の専決処分条例が分からない。
- ・ 9条の解釈・改憲の暴走を食い止めるためにも、矢巾町議会でも決議・意見書をあげていただきたい。
- ・ 説明用意不十分。質問の答弁ができていない。駅前複合施設は不要。年間の経費も1億円と高い。



熱心に訴える参加者

議会からのお知らせ

議会からのお知らせ



大沢桃子（歌手）から激励を受ける筆者（右）



ふるさと矢巾会新会長

やすみ せつこ
八角 節子 さん（上矢次出身）

ふるさとがあるから

今がある

ふるさとの矢巾が昨年豪雨災害に遭い大変心配しておりました。

私の実家の近くの岩崎川、そして煙山の山王茶屋前の橋崩落箇所を見たときは、ただただ自然の「力」というものの恐ろしさを感じました。今

では河川改修も進み、町民の足となる道路、川が整備されつつあると聞いてほっとしております。

さて私事ですが、昨年秋のふるさと矢巾会の集いの総会で前会長の後を引き継ぐことになり、会長を任せられました。会員の皆様のご協力とご指導の下で、微力ながら「ふるさと矢巾会」の運営を守っていかうと思っています。

想う仲間の集まりです。今年で27回目の集まりがあります。感謝の気持ちを忘れずに楽しいひと時を過ごして守り続けたいと思うのです。

ぜひ東京近郊に住んでおられる方々、例えば実家、親戚、同級生、近所等々に知人がおりましたならば、矢巾会にご

一報ください。または矢巾町役場に連絡をお待ち致しております。

ふるさとがあるから今があります。皆さんも仲間に入りませんか。出身者の一人として矢巾は誇りとともに支えます。終わりに、町民の皆様様の繁栄を希望しております。

【連絡先】矢巾町企画財政課

019-611-2722

あ と が き

気象庁は、今年の夏はエルニーニョ現象が発生する可能性が高いと発表した。北日本では低温で降水量が多く梅雨明けが遅くなる傾向があると予報している。

農業政策が大転換され、5年後の減反廃止など不安が多い農家にとって、また一つ不安材料が増えそうな状況だ。

大雨洪水被害のあった岩崎川の河川改修工事は、今後5年間で県道不動盛岡線までの2640m区間を川幅は2倍、断面積を7倍程度に大きくし、昨年8月の洪水にも対応可能としているが、工事中で多雨予報の今夏、より一層の洪水対策が必要と痛感している。

編集委員

齊藤 正範

発行・編集責任者

議長 藤原 義一

編集委員

委員長 山崎 道夫

副委員長 小川 文子

委員 齊藤 正範

委員 昆 秀一

藤原 梅昭



《ご意見はこちらまで》
E-mail:gikai@town.yahaba.iwate.jp

いわてやはば議会だより189号 16
平成26年7月16日発行